

令和 8 年度第 1 回市民が主役のまちづくり事業支援委員会会議録

1. 開催日 令和 8 年 6 月 29 日(月)
2. 時間 午前 9 時 00 分から午前 10 時 45 分
3. 開催場所 君津市役所 5 階大会議室
4. 議題
 - (1) 委員長・副委員長の選任について
 - (2) 令和 7 年度実施事業の実績報告について
 - (3) 令和 8 年度 2 次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて
 - (4) 令和 8 年度 2 次募集申請事業の採択協議について
5. 公開又は非公開の別
 - (1) (2) (3)については、公開。(4)については委員の自由な討論が制限されると認められるため非公開(君津市審議会等の会議の公開に関する規則第 4 条第 1 項第 2 号)。
6. 出席委員 7 名
 - 榎本 光男 加藤 美代子 黒川 倫行
 - 座間 信子 影山 貴大 新田 力男
 - 二瓶 華織
7. 出席職員 5 名
 - 市民生活部部长 田渕 陽子
 - 市民生活部地域づくり課課長 正源 尚紀
 - 市民活動支援係係長 清水 美香
 - 市民活動支援係主任主事 高橋 友美
 - 市民活動支援係主事 粕谷 賢司
8. 傍聴者 なし

開会(午前 9 時 00 分)

事務局 それでは、ただいまより、令和 8 年度第 1 回市民が主役のまちづくり事業支援委員会を開催いたします。

委員の皆さまにおかれましては、ご多用のところ、ご出席を頂き、誠にありがとうございます。

皆様のお手元に委嘱状を配布させていただきました。誠に恐縮ですが、そちらをもちまして交付とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

ここで石井市長より、ごあいさつを申し上げます。

— 市長挨拶 —

事務局 石井市長につきましては、公務のためここで退席となります。

本日は、委員改選後初めての委員会となります。委員数についてですが、以前より委員数が多いとのご意見を頂いていたこと、また、円滑な進行を図っていく観点からも、今年度見直しをさせていただいたところでございます。

新任委員の方もいらっしゃいますので、委員および事務局職員の紹介を行いたいと思います。大変恐縮ですが、榎本委員から順に、自席で自己紹介をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

事務局 — 委員自己紹介 —

委員の皆さま、ありがとうございました。次に市民生活部長の田淵から事務局職員の紹介をさせていただきます。

田淵部長 — 職員紹介 —

事務局 それでは進めさせていただきます。本日の出席委員につきましては、定足数に達しておりますので、議事に入らせていただきます。

なお、本委員会は、君津市審議会等の会議の公表に関する規則に基づき公開されておりますが、本日の傍聴者はおりませんでした。

また、本委員会の会議録につきましては、後日、市のホームページで公開されますので、ご了承願います。

それでは議事に入ります。

本日の議題は、事前に配布しました次第のとおりとなっております。
本委員会が委員改選後、第1回目の委員会でありますので、委員長・副委員長が決定されるまでの間、事務局にて議事を進行したいと考えております。市民生活部長の田渕を仮議長としてよいか委員の皆様伺いたいと思います。

全委員 異議なし

事務局 異議がないようですので、田渕を仮議長とし、進行を代わらせていただきます。

田渕部長 それでは、わたくしの方で議事を進行させていただきます、仮議長の田渕です。よろしくお願いいたします。

議題1「委員長・副委員長の選任について」

田渕部長 議題1「委員長・副委員長の選任について」
お手元のファイルの中ほど、「市民が主役のまちづくり事業支援委員会設置要綱」をご覧ください。要綱第4条第2項に「委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する者をもって充てる」と規定されておりますので、委員の皆さまの互選によりまして委員長及び副委員長を選出していただくものでございます。

選出の方法といたしまして、選挙、推選などが考えられますが、委員の皆様のご意見をお伺いいたします。

黒川委員 はい。

田渕部長 黒川委員。

黒川委員 委員長、副委員長ともに、一括の指名推選をお願いします。

田渕部長 ただいま、一括して指名推選というご意見がございました。委員長・副委員長の互選は、一括して指名推選により行うことで、ご異議ございませんでしょうか。

全委員	異議なし。
田渕部長	それではご異議ないものと認め、委員長・副委員長の互選は一括して指名推選により行います。 どなたか委員長・副委員長のご指名をお願いいたします。
黒川委員	はい。
田渕部長	黒川委員どうぞ。
黒川委員	委員長には以前より委員長を担っていただいている榎本委員、副委員長には新しい方ですが、加藤委員にお願いしたいと考えております。
田渕部長	ありがとうございます。ただいま、黒川委員より、委員長に榎本委員、副委員長に加藤委員とのご発言がありましたが、これにご異議ありませんか。
全委員	異議なし。
田渕部長	ありがとうございます。それでは、ご異議がないようですので、委員長に榎本委員、副委員長に加藤委員を選出することに決定いたします。 榎本委員、加藤委員には、委員長席・副委員長席へご移動をお願いいたします。 委員長・副委員長が決定しましたので、ここで仮議長の任を解かせていただきます。 委員長、副委員長、どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	ここで、榎本委員長、加藤副委員長に一言ずつご挨拶をお願いできればと思います。
榎本委員長 加藤副委員長	— 委員長挨拶 — — 副委員長挨拶 —
事務局	ありがとうございました。 それでは、委員会設置要綱第5条第1項の規定によりまして、榎本委員長に議長をお願いしたいと思います。榎本委員長、よろしくお願いいたします。

議題 2 「令和 7 年度実施事業の実績報告について」

榎本委員長 それでは早速、会議録をまとめるにあたり、確認者を「新田委員」、「二瓶委員」にお願いしたいのですが、よろしいでしょうか？

— 新田委員・二瓶委員より承諾いただく—

それでは議事に入ります。

議題 2 「令和 7 年度実施事業の実績報告について」を、事務局からの説明をお願いします。

事務局 それでは、令和 7 年度実施事業の実績について、自席にて説明いたします。

事前にお配りしておりますファイルのインデックス、下から 2 番目、「R7 事業一覧」のページをお開きください。

令和 7 年度の実施事業は 13 事業となりました。

全体の決算事業額は 482 万 5,804 円、交付確定いたしました補助金額は 297 万 4,674 円となりました。

次のページの「令和 7 年度実施事業の実績報告について」ですが、こちらのページにつきましては決算額が大きく減少している事業について記載しております。

それでは、各団体の令和 7 年度の実績報告についてご報告させていただきます。件数が多いため、活動内容が似ている事業については、区分ごとにまとめた報告とさせていただきますので、お含みおきください。

まず、インデックス 1 番「かずさっ子」、2 番「SCP」ですが、こちらは事業区分「子どもの居場所づくり」の実績報告となっています。事業番号 1 番「かずさっ子クラブ」は 5 回目、2 番「SCP 創り隊」は 7 回目の申請となっております。

「かずさっ子クラブ」は森林体験交流センター等、「SCP 創り隊」は清和地域拠点複合施設おらがわで、それぞれ子供の見守り活動を実施しております。「SCP 創り隊」は活動日数が当初の計画には届きませんでした、平均して月 10 日程度の実施ができております。

続いて、インデックス 3 番「猫レンジャー」をお開きください。

事業名称、「猫と人間とが共存できる環境づくり」、団体名は「猫レンジャー」です。

こちら青いインデックスがついているページの第13号様式、市民が主役のまちづくり事業実施報告書の実施期間の記載が間違っておりました。「令和6年4月1日から令和7年3月31日」となっておりますが、正しくは、「令和7年4月1日から令和8年3月31日」となります。お手数ですが、修正をお願いいたします。実施した内容につきましては誤りはございません。

それでは、事業名称、「猫と人間とが共存できる環境づくり」、団体名「猫レンジャー」の実績報告を続けます。

事業区分は「地域ボランティア」で、申請回数は、昨年度に事業区分を「自由企画」から変更したため、地域ボランティアの申請回数としては1回目となります。ジョイフル本田ペットセンターにて譲渡会を12回、生涯学習交流センターにて相談会を10回実施しました。市の環境衛生課と連携いたしまして猫の不妊手術に取り組まれております。リーフレット作成ができなかったことから、当初の予算額に対し決算額が大きく減少しております。

続きまして、インデックスの4番から7番は環境美化活動の実績報告となっております。事業番号4番「小櫃地域ふるさと活性化組合（そうじいや）」は12回目、5番「松丘道路環境保全会」は9回目、6番「蓑会」は2回目、7番「宮下緑地をきれいにする会」は6回目の申請となっており、それぞれ、道路や、遊歩道等の草刈りや植栽といった環境美化活動に取り組まれました。

続きまして、インデックスの「8番」をお開きください。

事業名称、「君津青葉高校生と取り組む久留里・上総小櫃地区花いっぱい運動」、団体名は「君津青葉花いっぱい委員会」です。事業区分は「未来の担い手」で、申請は4回目となります。

久留里・小櫃地区の団体向けに定植方法や管理方法の説明会を行っております。また、地域の小中学校を訪問し、卒業式装飾用の鉢花の装飾方法や管理方法の説明会も行いました。

本団体ですが、令和7年12月の視察時及び前回の支援委員会の際に、当該団体の活動が君津青葉高校の授業の一環であることから、本補助金ではなく、教育委員会の予算で補助した方がよいのではないかとのご意見をいただいております。

その件について、市の担当課と協議をしたところ、当該高校は県立高校であり、市の予算では対応ができないとの回答であった事を併せてご報告させていただきます。

続いて、インデックスの9番「プロジェクトK」をお開きください。
事業名称、「福祉のまちづくりを推進するプロジェクト」、団体名は「プロジェクトK」です。事業区分は「自由企画」で、申請は5回目となります。

障がいを持つ方取材しHPで紹介しております。また、生涯学習交流センターにて七夕交流会を開催し、発達障害の講話や七夕飾りの製作・ゲーム等を実施しました。

続いて、インデックスの10番「健康・生きがい」をお開きください。事業名称、「君津いきいき100歳大学」、団体名は「健康・生きがい君津」です。事業区分は「自由企画」で、申請は2回目となります。

週1回、21週にわたり、講義・グループワーク、視察研修会等を実施しました。視察のなかで、事業番号1の「かずさっ子クラブ」の子供達との交流もありました。

続いて、インデックスの11番「コミュニティ清和」をお開きください。事業名称、「地域内外の交流拠点「清和ウェルカムハウス」」、団体名は「コミュニティ清和」です。事業区分は「地域の交流の場づくり」で、申請は3回目となります。

地域の空き家を借り受け、リフォーム作業を行い、そこを拠点として、竹あかり制作のワークショップを実施しました。参加者の直前キャンセルが発生し、謝金や材料費などの執行ができなかった関係で、予算額に対して決算額が大きく減少しております。

続いて、インデックスの12番「君津の朝めし」をお開きください。事業区分は「地域の交流の場づくり」で、申請は3回目となります。

清和地域複合施設「おらがわ」の会場をメインに、春季・冬季で炊飯体験や市内にある古民家の宿にて宿泊者向けに出張版君津の朝めしを開催しました。また、内みのわ運動公園での開催にむけて調整等を行っております。

続いて、インデックスの13番「Teamののさん」をお開きくださ

い。事業名称、「かめやまアート&マーケット」、団体名は「T e a mの
のさん」です。事業区分は「地域の交流の場づくり」で、申請は1回目
となります。

亀山地区のやすらぎ館や旧亀山中学校を舞台にキッチンカーの出店や
地元の方の合唱やフラダンスの発表、ワークショップ、空き家見学ツア
ー等のイベントを年2回開催しました。

その他各事業の詳細につきましては、各団体の実施報告書及び活動写
真をご覧くださいと思います。

令和7年度の実績報告は、以上となります。

榎本委員長 昨年度の実績報告ですが、何かご質問等ありますか。

黒川委員 はい。

榎本委員長 はい、黒川委員。

黒川委員 実績報告の事業説明（1）SCPのところ、「ボランティア確保が
できず予定回数できなかったため、予算額に対し決算額が減っている」
と記載されていますが、SCPの実施報告書「（2）こういった成果が
得られたと考えますか？」には「ボランティアスタッフが増加した」か
ら「月2.3日から月10日程度実施することができた」という書き方
となっています。増えたのか減ったのかどちらですか？

事務局 令和7年度と比べて開催日数は増えたのですが、当初の予定した回数
と比べると減っているといった意味合いとなります。

黒川委員 月10日程度ではなく、本来はもっと開催回数を予定していたとい
うことですか？

事務局 はい。20回くらい予定していたかと思います。

計画日数には足りていないということでございまして、そういう書き
方をしているのが実績報告でございしますが、団体としましては、年々ボ
ランティア確保が進んでおりまして、実施報告書においては「実施日数
は増えてはきている」という前向きな書き方になっているものと考えて
おります。こちらについても、事業が年々しっかりできているところに

については前向きに考えておりますので、今後開催日数を増やしていければよいのかなと捉えております。

黒川委員 資料毎に、「開催日数が増えている」、もう一方では「減っている」となっておりますが、これは「月2.3回から月10日程できたけども、計画していた日数よりは少なかった」ってことですね。それが書いていないと内容がちぐはぐしており、私達が見た時にどちらなのかわからないため、次からは団体から提出された資料であっても、事務局の方で修正・報告をしてほしいと思います。

事務局 ありがとうございます。各事業、資料をしっかりと精査してきたいと思えます。

新田委員 はい。

榎本委員長 はい、新田委員。

新田委員 今の説明の中で、青葉高校の補助の件ですが、これは「もう市の事業としては認めない」という、そういう理解でよろしいでしょうか。

事務局 教育委員会の予算としては出すことはできないということになります。

新田委員 ということは、今後もエントリーがあれば継続して審査をするということになるのですか？

事務局 今年度につきましては今年の2月にご審査頂き、採択となり、今年度の活動をされております。来年度以降もまた応募があれば、審査の中でどういったかたちとなるかというところになってくるかと思っております。審査の結果で採択・不採択が決まることとなります。応募回数につきましては、令和8年度で5回目となります。

榎本委員長 前回時、5回の回数制限を設けたと思うが、それは相手に伝えてありますか。

事務局 昨年度まで実施している団体につきましては、あと3回となっております。

榎本委員長 あと3回ってことは合計7回ということですね。

事務局 前回の会議の中で、回数制限を設けることで、いきなり応募することができなくなるというのは、団体活動を継続していくうえで難しいという話になったかと思います。また、一方で他の団体と同様に、今後も5回補助するというのも長いということから、既存団体については「令和8年度から数えて3回補助をする」ということで前回ご審議頂いたかと思っております。

榎本委員長 もともと5回だったのが、現時点で既に9回とか申請をしている団体もあることから、とくに制限をすぎているが、途中で制限をやぶってしまったってことですね。

事務局 昨年度までは回数制限がなかった制度となっております。ただ、新規団体の参入等を図るために回数制限をつけたうえで、循環を図っていくことが重要なのではないかという話がありましたので、令和8年度の募集から回数制限をさせていただきところとなります。

榎本委員長 はい、新田委員どうでしょうか。大丈夫でしょうか。

新田委員 つまり審査をするということですね？了解です。

榎本委員長 実績報告について他にどうでしょうか。

黒川委員 10番「健康・生きがい」について、実績報告が9月で終わっており、10月以降が「予定」となっていますが、まだ報告は来ていないのですか？

事務局 100歳大学につきましては、大学の講座が9月末までを予定しております。10月以降に関しては「実施していない」ということで報告を頂いております。

榎本委員長 他にはございますか。
（発言するものなし）
それではないようですので、これで議題2を終了いたします。

議題 3 「令和 8 年度 2 次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」

議題 4 「令和 8 年度 2 次募集申請事業の採択協議について」

榎本委員長 続いて、議題 3 「令和 8 年度 2 次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」、議題 4 「令和 8 年度 2 次募集申請事業の採択協議について」事務局お願いいたします。

事務局 それでは、「議題 3 令和 8 年度申請事業の公開プレゼンテーションについて」および「議題 4 令和 8 年度申請事業の採択協議について」説明いたします。

まず、本日のスケジュールですが、ファイルに綴じてある「スケジュール」をご覧ください。本日のプレゼンテーションは、2 件。9 時 3 0 分からプレゼンテーションを開始し、終了時刻は 1 1 時 0 0 分ごろを予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。

続いて、本日の資料についてですが、本日の資料は、事前に郵送にてお配りしておりますが、お手元にない方おりますでしょうか。不足等があれば、事務局にお知らせ下さい。

— 資料確認 —

次に、応募状況について説明させていただきます。「事業一覧」をご覧ください。

2 事業の応募がございまして、1 事業が新規事業となります。また、補助申請額の合計が、予定している予算の範囲内となっている状況であることを申し添えておきます。

それでは、審査についてご説明いたします。インデックス「審査要領」をご覧ください。

2 事業全て、応募書類とプレゼンテーションによる審査を行います。審査時間は記載のとおり、発表 1 0 分、質疑応答 1 0 分の合計 2 0 分です。応募要件については、団体から提出されたチェックリストをもとに事務局で確認を行っております。参考資料として事前にお送りした「事前審査結果一覧表」をご覧ください。事務局の事前審査結果では、2 事業ともに採択基準満たしている結果となっております。

なお、事前審査は、書類のみで行っているため、企画申込書では不明瞭な部分が審査に影響しているものもございまして、あくまで参考資料としてご覧ください。

委員の皆様におかれましては、本日の「プレゼンテーション」及び「質

疑応答」で不明点を確認したうえで、審査を行っていただきますようお願いいたします。

続いて、「A 3 サイズの参考 評価基準（参考）」をご覧ください。各項目におけるおおよその基準を記載したものです。評価時の参考にしていただければと思います。配点としては、中央の 3 点または、6 点をすべて選択すると、採択基準点に達するかたちとなります。

続きまして、「審査票」をご覧ください。

委員の皆さまには、各団体のプレゼンテーション終了ごとに、評価できる点や不十分な点、採択にあたって条件を付ける必要がある点など必要に応じて協議していただき、団体のプレゼンテーション、質疑応答および協議でのご意見を踏まえた上で、審査票に点数を記入してください。また、協議で話しきれなかった気になる点等がありましたら、下の特記事項にメモをしてください。

審査票は、各団体の採択協議終了毎に回収させていただきます。

最後に A 4 の「令和 8 年度市民が主役のまちづくり事業（2 次募集）の採択決定方法」をご覧ください。こちらには採択の決定方法を記載しております。一番下の矢印の予算配分に、順位の高かった事業から予算配分をするとありますが、令和 8 年度の 2 次募集につきましては、応募事業が、予定している予算の範囲内に全て収まっている状況です。そのため、採択基準を上回った事業をすべて採択することができる状況となっています。

本日のプレゼンテーション審査がすべて終了したのち、事務局で採点の集計を行い、結果を報告します。その後、採択にあたり、付帯条件が必要と判断される事業について、協議を行い、条件を決定します。最終的な採否は、本日の審査会の結果をもとに市長が決定いたします。

以上で、説明を終わります。

榎本委員長 今日残っている予算はいくらですか。

事務局 3 3 万 4 千円程度です。インデックスの事業一覧のところに細かい内訳を記載しております。

新田委員 事務局での審査は何名で行われましたか？

事務局 4名です。

榎本委員長 よろしいでしょうか。
(発言するものなし)
それでは、プレゼンテーション審査を開始いたします。

事業番号 12

事業名 子どもの音楽朗読劇

団体名 りんごりらっぱ

発表者 阿部氏、浅岡氏

プレゼンテーション

榎本委員長 事業番号12番、事業名「子どもの音楽朗読劇」のプレゼンテーションを始めます。発表時間が10分、質疑応答が10分となります。団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 資料修正箇所の報告 —
— 画面共有にて説明 —

質疑応答

榎本委員長 何年前から活動しているのか。

団体 昨年立ち上げ、ちょうど1年弱となる。

座間委員 どういう募集をしながら活動してきたのか教えてほしい。

団体 今年度からは君津市をメインに活動をしていきたいと思っている。昨年始まったばかりで、これまでは自分たちのご縁の中で、声をかけてもらったところに伺い、少しずつ発表を重ねていくうちに、大人数の方の前で発表する機会をいただいた。

座間委員 声をかけてもらった方が、口コミで広めて、そこで募集をかけていったというような感じか。

団体 募集は特にかけておらず、今までの関係がある方とか、活動をして共感をしてもらえる方から声をかけてもらい、そのようなありがたい環境の中で昨年度は活動していた。

- 新田委員 音楽朗読劇なるものは、どの程度の団体があるのか。また、総費用のなかで、団体の負担金の割合が高いが、この負担金の出所はどういった形で出しているのか、または出そうとしているのかを教えてください。
- 団体 音楽朗読劇をやっている他団体については知らない。朗読劇の団体はいるが、音楽朗読劇の団体はあまり聞いたことがない。
私たちは、本物の演奏や手作りの物語を子どもたちに届けたいというところにこだわって活動をしている。
予算の件は、昨年1年活動してみたが、6万円位を自分たちで負担しており、メンバーで割って個々に負担していた。今後どうやっていこうかと考えていたところ、この補助金を知り、活動を継続していくため、メンバーの資金面の負担を減らすためにも応募した。
- 影山委員 この活動で参加される親御さんたちに、このように変わってもらえるといいなと思っていることや、子どもたちがこう変化してほしいことについて教えてほしい。
- 団体 親御さんたちには、子どもたちの命の大切さはわかっているが、自分の命については忘れがちになっているため、自分の命の大切さにも気付いてほしい。メンバーが創作した「森の守り人」という物語をとおして、色々な子がいていいのだなということを、見ていた親御さん達に感じてもらえた時に、この活動に意味を感じた。子どもたちには、今すぐ伝わらなくても、大きくなった時に何か残ってもらえると嬉しい。
- 影山委員 二点目ですが、今後仲間を増やしていきたい、子ども達もメンバーにいていきたいな等の、団体としての成長についてどう考えているか教えてほしい。
- 団体 今後は音楽朗読劇に加え、見ている人により伝わるように演劇も視野にいている。メンバーを増やすとしても、思いを共有できる人を大切にしたいと思っており、劇が好きなだけではなく、子ども達に命、水、自然の大切さ等を共感いただける人がいたら。そういう仲間が増えていくことは嬉しく思っている。
- 影山委員 主要なメンバーはこの思いを大事に共有していけるメンバーで、子ど

もたち含め、参加者も一緒に演劇を作っていく等の可能性もあるか？

団体 楽しくワクワクする方向に進めていければ嬉しく思う。

影山委員 寄附・会費とかを設ける予定とかはあるか？

団体 今のところ、多くの方に来てもらって出会ってもらうことを一番に活動しており、お金をいただくということは考えていなかった。ただ、講演していくなかで共感してくださる方が沢山いたので、今後考えていければと思っている。

榎本委員長 この事業のなかで100歳大学という、65歳以上の方が集まって、講演聞いたりする団体があるが、そこにも行ってみたらいいのではと思った。子供だけではなく、お年寄りにも。元気が出るのではないかなと。

事業番号 13

事業名 地域内外の交流拠点「清和ウェルカムハウス」

団体名 コミュニティ清和

発表者 池田氏

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは、事業番号13番、事業名「地域内外の交流拠点「清和ウェルカムハウス」」のプレゼンテーションを始めます。発表時間が10分、質疑応答が10分となります。団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 資料修正箇所の報告 —
— 企画書にて説明 —

質疑応答

榎本委員長 会員58名いるが、一回あたりの活動時は何名位集まるのか？

団体 運営としては10～15名、その他遊びに来てくれた方・見学者を含めると20名弱の会員が集まってくれる。

新田委員 交流人口は随分と増加していると聞いており、これはあなたたちの活動の成果だと思っている。ただ、コミュニティ清和のSNS等の情報発信にはあまり出くわしたことがない。どういったところに、どういった形

で発信をされているのかを教えてください、年間の行事計画はどのようなになっているかお聞きしたい。

団体

コミュニティ清和の情報発信する媒体が、Instagram、フェイスブック、HP がメインとなっております。その他で大きなイベント、参加者を募るようなイベントを開催する時は、びびなび、ジモティー、きみこむなどを活用させてもらっている。地域の方へは自治会回覧を利用していたが、一般団体の配布ができなくなってしまう、私達も周知宣伝については課題と感じている。これからも色々な方法を試しながら沢山の方へお届けできればと考えている。

2点目の年間の計画については、大きいイベントで、3月は「清和の早春を楽しむイベント」、5月に「清和まつり」、6月に「ホテルを見る会」など、時期に合わせたイベントを実施している。そういった情報をHP などでは発信しているが、参加者の募集は君津市のメールで発信している。最近、各イベント毎回満員となる状況である。

新田委員

色々な事業をされているなかで、周知の仕方については、もう少し広く深くできたらいいのではと思っている。

影山委員

キッチンカーの出店者について、市内飲食店を想定しているのか、市外事業者とかで埋めていくのか、そこについての考えを教えてください。

団体

これまで実施してきたイベントに出店したことがある県内の事業者に出店してもらう予定。そこは君津市、地域にはこだわらず、沢山の方に出ていただければと思っている。

影山委員

ちなみに、キッチンカーの出店者のなかで、市内の業者さんはいるか？

団体

いる。これまで関わりがある方、また、今後出たいとおっしゃてる方はほとんど君津の方になる。

影山委員

イベントに来られている方の地域内外の割合は？

団体

清和地域に限定すると地域外が100%。君津市街の方が多い。

影山委員

企画をするなかで、清和地域の方々の変化について教えてください。ま

た、来てくれた方で、清和に思いを馳せたとか、行動が変わった等あれば教えていただきたい。

団体 清和地域内の方々の変化としては、自身のやりたいことを発信するようになったことが大きい変化である。地域外の方が来ることによって、自分ができることを見つけられるようになった。例えばイベントで「これを提供しますよ」、「これやりますよ」とかを話してくれることが増えたことと、地域外の方の変化としては、祭り等のイベントに単発で来てた方達が、小さなイベントにも申し込んでくれることが多くなった。2回目、3回目の来訪が増えたと実感している。

影山委員 そういった方達からの寄付とかの受け皿はあるのか？

団体 受け皿はない。そこは課題であり、これまでも財源確保として寄附の窓口を HP に作ったらどうかという話もあったが、そこまでは到達できていない状況。現時点だと、会員になることが寄付の一部となっている。今後整備していきたい。

座間委員 寄付の話が出たが、亀山では駐車料金を「地域の保全」という形で自由に募金箱みたいなものを設置しており、それを活動資金にしている。清和も自家用車で来る方が多いと思うため、亀山のような取り組みを念頭に置いてみてはいかがかなと思った。

また、キッチンカーの誘致もよいが、例えば地元の方が作った農作物等を清和まつり等で販売できるとか、地の物を直売できるスペースもあるといいと思った。

団体 以前、竹灯籠を展示した際に募金箱設置を検討したことがあった。募金箱について参考にさせてもらう。清和のお米やお蕎麦は、トラック市等のイベントで販売している。

黒川委員 去年は竹あかりで、今回はキッチンカーで申請されているが、竹あかりは今年もやるのか？

団体 今年も実施する。

黒川委員 今回は竹あかりの資金ではなく、新たにキッチンカーということで申

請しているのか？

団体 これまではこの事業を活用して、竹あかりのワークショップ、協力者への報酬、道具の購入を3年やってきて、4年目からは財源確保に向けて自立するための活動をしていこうとなった。竹あかり事業は参加費で賄えるようになってきたことに加え、レンタル貸し出し事業も始めたこともあり、財源確保をしつつある。今回はコミュニティ清和全体の運営にかかる財源確保に向けて、新たな事業で応募させてもらった。

黒川委員 今回1次募集の際に申し込まなかったのは何か理由があるのか？

団体 1次募集時にそろそろ財源を自分たちで確保する活動をした方がよいのではないかとの話が上がったが、この事業を使って売り上げをあげていくことがよくないと考えていたところ、コミュニティ清和団体の自立のための資金を収集するための活動であれば応募の対象となるとの話をいただいた。また、1次募集の際にはまだ具体的な企画が決まっていなかったこともあり、今回の2次募集のタイミングで応募させてもらった。

議題4「令和8年度2次募集申請事業の採択協議について」（非公開）

閉会(午前10時45分)